



おつかれ
さまでした!

○●女子部 通信！ 実技更新講習会●○

8月19日(土)、20日(日)の2日間にわたり、実技更新講習会を、香取市招待ジュニアユースサッカー交流大会試合、香取市立佐原第五中学校会場で実施しました。

土曜日は第1試合の前半から雨が降り始め、ハーフタイムに入ると雷の音が…。本部から建物の下や車の中に入るように指示があり、全員退避。1時間半近く様子を見守ることになりました。しばらくすると雷も雨も止み、本部と運営の判断で再開することができました。試合時間の短縮などはありませんでしたが、受講生も予定通り割当を行うことができました。雷のときの対応についての通達に目を通す機会を得ることができ、また、実技では競技規則が変更となった事象が起きるなど、再度変更点についてインストラクターと一緒に適用の方法について検討し、確認することができました。

日曜日は比較的過ごしやすい天候で予定されていたリーグ戦が実施され、受講生は体力的に余裕をもって普段の活動や自分の課題と向き合うことができたのではないかと思います。最終試合は、女子1級審判員の千葉さんに主審に任じ、副審2名と一緒に試合を体験。受講生やスタッフは観戦研修し、インストラクターによる解説を聴きながら自然と流れるような、ボールとプレーの近くにいながら選手の邪魔にならない動きに見入りました。

両日も実技の合間に、規則の変更点を確認できる競技規則テストを実施しました。大きな変更のあとの改正ではありませんが、いま一度、整理をする良い機会になったと思います。

女性だけの更新講習会です。インストラクターからの丁寧な指導を受けられます。毎年、香取市サッカー協会のご協力を得て、8月のお盆明けの週末に行なっています。女性審判員のみなさん、来年の予定に入れておいてください！

受講生の感想をご紹介します。

❖ 去年は雨によって、実技研修がなく、淋しかったので、今回はよかったです。試合時間をきちんとこなせる体力をつけていくことが今後の課題です。毎回、お手配、準備ありがとうございます。来年も「元気に」参加できたら、と思います。

❖ 香取研修会に今年も参加させて頂きまして、ありがとうございました。雷雨のため、1時間30分の待機時間がありましたが、割当の試合をさせて頂きました。試合の内容に合わせてのレフェリングなど課題はいろいろとあります。今後とも勉強しながら、進んでいければと思います。ありがとうございました。

❖ 雷、試合中断、本部の判断待ち、試合の再開、チームへの連絡など、レフェリング以外でのいい経験ができました。自分の試合では、『ペナルティーエリア内での決定的な得点の機会の阻止』『ボールへのプレー』だけど、警告が出せず、インストラクターに言われるまで気づけなかったのが、意識を高めたいと思います。怪我なく終わったのでよかったです。

❖ 昨年は雨で講義となり、今年は、雷で途中中断の後に、試合再開となるような天気でしたが、涼しく真夏の日には体力的にはやりやすかったです。何がおこるか分からない実技研修のなかで、競技規則が変更になったことが起こり、とつても勉強になりました。頭ではわかっている、実際に試合の中で即座に対応できるように慣れていきたいと思います。

❖ 第一試合の主審だったので、緊張もあり、ファウルがしっかりジャッジできず、予測もまだまだ足りませんでした。千葉さんにたくさんご指導して頂き、今回の講習会を足がかりにもっと成長したい、もっと成長しようと思いました。最後に千葉さんの主審を観戦し、感動しました。自分の動きと全く違う。非常に勉強になりました！少しでも近づけるようがんばります。

❖ この講習会を受ける前に自分なりの課題を決め、参加するのですが、なかなかうまくいかず、反省で終わってしまいます。もっとあさすれば良かった、あの時もやっぱり…。もっと走って、予測して動き出し。そんななかでも、一つ褒めていただいたことを持続し、褒めていただけることが増えるように日々頑張ろうと思います。来年もまたしかられるだろうけど、よろしく願います。

❖ 主審を1本と副審を2本やりました。主審では手を使ったファウルの判断、サイドステップからの前への動きの切り替え。副審ではスロアーの監視、分かりやすいジェスチャーなどを御指導いただきました。最終試合は国際副審でいらした千葉さんとご一緒させていただき華麗なステップとゲームコントロールに感激しました。インストラクターの谷口さま、千葉さま、運営して頂いた女子部のみなさま、ありがとうございました。



初心者歓迎



1日目、2日目の参加者で記念撮影！



●○ユース・若手審判員 宿泊研修会○●

報告:育成部/U18担当 右田 智也

8/19(土)～20(日)にかけて、今年もユース・若手審判員の宿泊研修会を実施しました。また新しい顔ぶれがあり、充実した2日間となりました。リピート参加者においてはレフェリングの技術の向上だけでなく、オフザピッチでの立ち居振る舞いにも成長が見られた研修会でした。年長者は年少者の面倒を自然に見られるようになってきており、座学でのプレゼンでは、1年前とは比べ物にならない立派な発表が出来るようになっていました。大人になりつつある年代ですので、私自身、どちらかというとオフザピッチでの指導に注力してきたので、ようやく成果が現れてきて、涙が出そうになりました。(彼らの前では絶対に泣かないけどね！)この研修会での素晴らしい伝統を、新しい顔ぶれにも受けつないでいってほしいものです。



「1日目。降ったり止んだりの中、キックオフ」



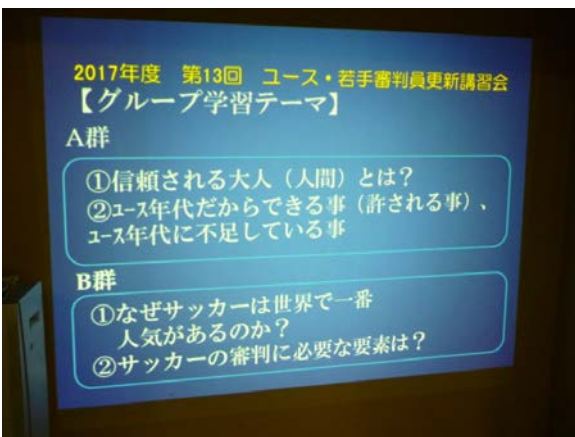
「実技後のフィードバックの様様」



「恒例、競技規則確認テスト」



「宿舎での食事風景」



「こんな機会が無いと、考えないよね。」



「いろいろな考えが出されました。」



「いよいよ発表です。」



「素晴らしいプレゼンでした。」



「昼間の試合の振り返り」



「2日目。牛尾フィットネス部長 参上！」



「体幹を鍛えましょう。」



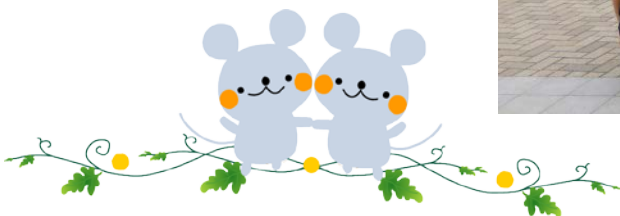
「腹式呼吸を体感」



「正しい姿勢とは！」



「来年もまた会いましょう！」



●○JFA フットボールフューチャープログラムトレセン研修会 U-12 に参加して○●

育成部長 木原 裕之

今回は、8月2日(水)～6日(日)まで開催されていた、「JFAフットボールフューチャープログラム研修会U-12」(以降:「FFP」)に千葉県サッカー協会審判委員会よりインストラクターとして参加させていただきました。

この大会は都道府県のトレセンチームによる大会のため選手のレベルが非常に高く、大会前にJFA技術委員会による日本の目指す選手「世界で通用する選手にする」の指導をそのまま実践している感じで、攻撃のスピード、前線から本気でボールを奪うといったスピーディーなサッカーをしていました。

審判は、各都道府県から派遣されているユース審判員だけで行います。私たちインストラクターは、そのユース審判員を指導するための研修を実践にて勉強するために参加してきました。(千葉県からのユース審判員は並木佑磨さんが参加しました)

この大会期間中は、インストラクター(5、6人)・審判員(5、6人)を1グループとして計8グループに別れて審判員は「基本にシンプルに」・インストラクターは「チャレンジ」を目標に、5日間を共に活動しました。と行っても夜の研修会は別々で各々JFAインストラクターからの指導を受け、3日目の大会休息日には、翌日にグループ別に行うユース審判員向けの講義→プラクティカルのプランニングシート作成を実施し、我がグループのテーマは「プレーの再開」についてプランを考え、講義については制限時間30分間で、どのように考えさせどのように伝えればいいのかをグループ考えて講義を実践しました。また、プラクティカルについても制限時間45分間と短い時間でしたが、こちらもグループ内で試行錯誤して無事行うことができました。その後の台風の影響で、四国・九州地方の審判員・インストラクターが最終日の朝一番で帰宅されましたが、5日間を無事終了しました。



今回FFPに参加して、ユース審判員の審判に対する前向きな姿勢、指導されたことを素直に吸収して頑張っている姿をみて、指導している側からするととってもいろいろなことを伝えてあげたいと思ったのですが、私の少ない経験では上手に伝えることができなかったのではと思い、今後はもっと経験を積んで自分自身の審判レベル向上ももちろんですが、審判員のみなさんにもいろいろなことを伝えて行きたいと思えます。

←5日間共にした、審判員とインストラクター(後段左が私です。)



●○シニア審判員実技更新講習会○●

—県下各地域で活動されている審判員募集!—

4級を取得したばかりで、もう少し競技規則の理解を深めたい…。
子供たちの試合でこんなことがあったが、再開方法がわからなかった…。
競技規則の改正をもっときちんと理解したい…。
そんな方々の各レベルに応じた宿泊研修(実技更新可)を実施します!!

詳細は確定次第 HPにアップします!!

対象:年齢 35 歳以上～上限なし

資格:3 級及び 4 級取得者(初心者の方も女性も大歓迎です)

